

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36	スタッフ全員が、利用者のリズムを把握出来ていない。つい、急かしてしまう場面もある。	全員が利用者の気持ちに寄り添ったケア、人格を尊重し、利用者のリズムに合わせたケアをする。	施設内研修の強化(月1回のバリデーション体験)。また、必要に応じて障がいの体験を実感して向上させる。	6ヶ月
2	52	施設内の危険個所の把握について、スタッフ全員の見解一致がされていない。	スタッフそれぞれが、危険を察知する能力を身につけていく。また、それを共有する。	ヒヤリハットの研修をする。また、リスクマネジメントの強化。スタッフ会議の都度、話題に上げる。	6ヶ月
3	40	利用者さんに食べ残しが見られる。好みの把握ができていない。	食事中に明るい雰囲気が満ち、皆完食をする。	調理スタッフが食事介助として加わり、利用者の障がいや食の好み、癖を体感することによって、それに合わせた食事を提供できる工夫をしていく。	6ヶ月
4	26	利用者さん一人ひとりの身体状況に合った介護が出来ていない。そのために、介護される側に不安や恐怖心がある。	安心、安全な介護が受けられる。	月1回実技研修を行う。慣れた人ほど、自分の介護の仕方に慢心するので再度見直していく。また、新人の教育につなげる。	6ヶ月
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。